

2006年3月7日

報道関係各位

大規模なNBC(*1)災害時の救助・救急活動と災害情報の収集伝達を行う

モリタ 特殊災害対応自動車を開発

～特殊災害対応自動車の開発・販売に新たに参入～

株式会社モリタ

消防用車輛の開発・製造・販売を手がける株式会社モリタ(本社:大阪・東京、代表取締役会長兼社長:新村鋭男、東証・大証1部)では、大規模なNBC災害(*1)に対応する機器を搭載する特殊災害対応自動車を開発。この度、第一号車をさいたま市消防局に納入させていただきました。今回の特殊災害対応自動車の開発は、主に消防用車輛の開発を手掛けてきた弊社としては初めて試みとなります。

近年、石油コンビナート、化学工場、原子力発電所での事故の発生や、不安定な国際情勢や治安の悪化から、化学兵器等を用いたテロ犯罪の発生が懸念されています。このような状況のもと各自治体は、国民保護の立場から「NBC(核・生物・化学)災害」対策の整備が急務であるとして、対応組織・設備の設置や特殊な災害を想定した訓練の実施等への取り組みを行っています。

今回弊社が参入する特殊災害対応自動車は、外部の空気を浄化して車内に送り込むことで有害物質の侵入を防ぐ特殊フィルター付陽圧式浄化装置(*2)を装備。進入が危険と思われる災害現場付近に隊員とともに出勤します。ガスや化学物質等を収集し、搭載された各種測定機器により汚染状況を分析する機材をはじめ、災害現場での危険物回収作業や災害現場活動に必要な陽圧化学防護服、放射線防護服や2次災害の発生を防ぐ汚染物質除洗シャワー等を装備し、災害現場での最前線基地としての役割をはたすものとして、今後も各地での導入が進むものと考えられています

新たに弊社が開発いたしました特殊災害対応自動車は、最新の特殊フィルター付空気浄化装置を採用。連続48時間運転が可能となり、災害現場での長時間に渡る活動が行えるようになりました。また、安全性の向上のため運転席内部にも当装置を別途設置しています。

弊社では、特殊災害対策対応自動車の受注目標を2010年中までに5台(約8億円)としています。特殊災害対策対応自動車に関する概要及び特長は別紙のとおりです。

*1 NBC災害:生物化学兵器によるテロや原子力施設の災害など、N(Nuclear=放射性物質)、B(Biologic=生物剤)、C(Chemical=化学物質)に関わる災害のことを指します

*2 陽圧装置:室内の気圧を外部より高くすることで外気の侵入を防ぐ装置

本件に関するお問合せ先

株式会社モリタ 広報室 担当:浦野・東尾 TEL:03-5777-5088

※ 特殊災害対応自動車の画像データについては(株)モリタ広報室までお問合せ下さい

- ・ 汚染された外部の空気を浄化して車内に送り込む特殊フィルター付陽圧式空気浄化装置を装備。侵入が危険と思われる災害現場において隊員の身の安全を確保します。また、今回新たに開発された空気浄化装置は、連続 48 時間の稼働が可能となり、現場で長時間の作業が行えるようになりました。
- ・ 特殊フィルター付空気浄化装置を運転席部分にも採用。安全性が更に向上いたしました。
- ・ 搭載された各種測定機器(質量分析装置・赤外線分光分析装置・生物剤検知器・化学剤検知器 など)により災害現場の汚染状況を分析し、災害活動の方針や方向を決定する重要な情報発信源となります。
- ・ 災害現場での危険物回収作業や災害現場活動に必要な、陽圧化学防護服・放射線防護服等や 2 次災害の発生を防ぐ、汚染物質除洗シャワーを装備。現場で最前線基地としての役割りを果たします。



「特殊災害対応自動車」の主要諸元及び主要標準装備

- サイズ: 全長 8000×全幅 2500×全高 3500 (mm)
- 車両総重量: 12t 未満
- 定員: 7名(キャブ内 2名・分析室 5名)
- 主要標準装備: 特殊フィルター付陽圧装置・質量分析装置・赤外線分光分析装置・生物剤検知器・化学剤検知器・陽圧化学防護服・放射線防護服・危険物吸着剤・除洗シャワー など